

HAPS モバイルとルワンダ共和国の情報通信技術革新省、成層圏通信プラットフォームを活用したモバイル通信の共同研究に関する MoU を締結

ソフトバンク株式会社の子会社である HAPS モバイル株式会社（以下「HAPS モバイル」）と、ルワンダ共和国（以下「ルワンダ」）の情報通信技術革新省は、ルワンダ国内における、成層圏通信プラットフォームを活用したモバイル通信の共同研究に関する MoU（覚書）を、2020年7月29日に締結しました。

今回の共同研究では、両者は HAPS モバイルの成層圏通信プラットフォーム向け無人航空機の試験飛行を実施して、ルワンダ国内に 4G/5G のモバイル通信を提供することを目指します。共同研究の結果を踏まえて、ルワンダだけでなく、アフリカ各国における HAPS（High Altitude Platform Station）の商用化に向けた議論を両者で進めていく予定です。

ソフトバンク株式会社の代表取締役 副社長執行役員 兼 CTO であり、HAPS モバイルの代表取締役社長兼 CEO である宮川 潤一は、次のように述べています。

「HAPS モバイルは、HAPS を通してモバイルインターネット革命を起こし、情報格差のない世界を目指しています。アフリカにおけるテクノロジーの先進国であり、リーダーであるルワンダと共に HAPS を活用した取り組みができるのは、とても心強く、大変喜んでいきます。情報通信技術革新省と協力して、ルワンダやアフリカ各国での商用化に向けた取り組みを進めていきます」

ルワンダ 情報通信技術革新省の大臣であるパウラ・インガビレは、次のように述べています。

「HAPS モバイルがルワンダでビジネスを始めることを、心から歓迎します。この共同研究は、ルワンダが PoC（概念実証）を推し進めていく国を目指すという政府のビジョンに合致するものであり、順調に進めていくために必要なサポートをしていきます。この共同研究は、ルワンダだけでなく、アフリカ大陸全体の情報格差をなくし、デジタルの活用を推進していくルワンダのゴールに貢献するものです」

■HAPS モバイルについて

HAPS モバイル株式会社は、ソフトバンク株式会社の子会社です。世界の情報格差をなくすことを目指し、HAPS（High Altitude Platform Station）事業を企画・運営しています。主に、HAPS 事業に向けたネットワーク機器の研究開発や、コアネットワークの構築、新規ビジネスの企画、周波数利用に向けた活動などを行っています。米 AeroVironment, Inc.は、地上約 20 キロメートルの成層圏で飛行させる、HAPS モバイルのソーラーパネルを搭載した成層圏通信プラットフォーム向け無人航空機の機体開発パートナーです。また、HAPS モバイルは、米 Alphabet Inc.の子会社である Loon LLC と戦略的関係の構築に合意しています。詳細はホームページをご覧ください。

- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
-